

2022年度 事業報告書

(2022・9・1～2023・8・31)

特定非営利活動法人 ライフケア

< 事業概要 >

1 自然医学の普及相談活動事業

今期は6月24、25日の「快ラボふくしま」に参加のみになった。今後は橋本治療室が活動を継続し、ライフケアとしては適宜、参加の方向となった。

2 自然・暮らし体験事業

今年度も子ども食堂事業と連携した形で体験活動を行った。ホテル観賞会のように定例になった活動もあり、参加者の皆さんが楽しみにしている。ただ、日程が学校の行事と重なったりして子どもの参加は減少。以下に行事名、場所、参加者数を報告する。

- ・10月「稲刈り体験」(大玉村9人)、・11月「たくあん漬け」(郡山市なんだべ村10人)、
- ・12月「クリスマス会」(なんだべ村21人)、・1月「団子刺し」(なんだべ村17人)、
- ・2月「快医学おさらい会」(郡山、12人)、・4月「味噌作り」(福島市11人)、・5月：「田植え」(大玉村11人)、・6月：「ほたる観賞会」(郡山市：なんだべ村25人)

(担当：梅津俊也・大藤圭子・郷田みほ)

3 佐渡保養事業 (トムソヤー企画コンテスト助成、大坂コミュにて財団助成)

① 保養：正月保養は大人4名の参加。餅つきなど暮らし体験活動を行った。春キャンプ、5月連休もコロナの影響で参加は無く、スタッフによる改修工事や環境整備となった。夏キャンプは7月28日から8月21日まで行った。養護施設関係や新しい参加者など41人の参加者がありにぎやかなキャンプとなった。講師・スタッフは計12人。(関久雄、酒田忠彦、今野寿美雄、我妻啓光、関隆二、江川美穂子、伊藤千恵、石崎澄夫、渡部久美子、平田わたる、磯野正博、早坂温)

② 「砂浴事業」：申し込みが無く中止。

③ へっついの家の管理・整備事業

毎月、へっついの家に通って修繕、環境整備を実施。期間は1週間ほど。主な作業内容は丸太の加工、排水溝の整備、ツリーハウスの修理、収納庫の作成、スプリンクラーの設置、水道工事等。なお、夏前に地域の障がい者団体「あんずの家」に掃除を依頼、2週間に一度入る事で契約を結ぶ。

(担当：関、只野、酒田、関隆二)

4 「福島県県内帰還者・避難者、心の復興事業」(歌声サロン)

2022年9月から2023年の3月末まで「歌声サロン」を開催。スタッフには葛尾村、浪江の避難者らが参加。福島市や郡山市で10回開催。参加者数は約300人。2023年度は6月から8月まで4回開催。(担当：関久雄、酒田忠彦、梅津俊也、坂口美日)

5 「地域交流・他団体連携事業」

- ① 11月6日銀河まつりに歌声で参加、同日の市民交流フェスタに参加。
- ② 3月11日、郡山市公民館。「3・11ふくしま集会」に参加。アピール。
命のつどい (担当：大藤圭子、梅津俊也、郷田みほ、)

6 子ども食堂(里やま食堂)・配食事業

「12人の絵本作家が描くカレンダー」の寄付を受け、自然体験時のお弁当や会食が実施できた。食材には安心なものを使うようにこだわった。こどもは無料だが大人には費用負担をお願いした。以下に各月の回数と子どもと大人の配食数をまとめた。

2022年：9月(2回、子ども18人、大人7人)、10月(3回、17人、21人)、11月(3回、24人、19人)、12月(3回、23人、20人)

2023年：1月(2回、19人、16人)、2月(2回、15人、16人)、3月(3回、16人、33人)、4月(3回、16人、38人)、5月(2回、26人、24人)、6月(4回、32人、26人)、7月(4回、38人、29人)、8月(3回、32人、26人)

(担当：横田麻美、郷田みほ、)

7 「情報発信事業」

- ① 通信「なつみら」を2022年12月と2023年6月に発行、各千部。また、週末保養の周知のチラシを毎月、作成し、配布や置きチラシとしてきた。
(担当：郷田みほ、伊藤千恵、関久雄)
- ② 「ホームページ」：自然体験や保養のお知らせ等、毎月行った。(担当：梅津、伊藤、大藤)
- ③ 「フェイスブック」でライフケアの保養活動や毎月の改修工事の報告などの情報発信をした。
(担当：酒田、関)

8 上映会を通じた「へっついの家」支援体制づくり活動

「へっついの家」の買い取りに向けた支援体制づくりのための映画「かくれキニシタン」の上映会を各地で行った。また、伊藤がミニ上映会を松本周辺で行った。

9月10日(神戸)、11日(大阪)、17日(京都)、10月8日(松本)、16日(秩父)、22日(国立)、12月1日(郡山)、11日(東京)、2023年1月29日(東京)、3月5日(東京)、4月21日(新横浜)、22日(松本)、6月25日(須賀川)、7月1日(福島)

(担当：関、伊藤千恵)